

# 京都府中小企業技術センターけいはんな分室の活動

京都府中小企業技術センターけいはんな分室では、京都府南部の拠点として、技術相談及びセンター事業の広報を行うとともに、関西文化学術研究都市に立地する大学、研究機関と府内中小企業とのコーディネートをを行い、また、京都は電子機器産業が盛んであるため、実装技術の向上を図るために「京都実装技術研究会」を組織しておりますので、これらの活動を紹介します。

## ◎京都大学宇治キャンパス産学交流会

京都大学宇治キャンパスにある4研究所(エネルギー理工学研究所、生存圏研究所、防災研究所及び化学研究所)と連携して、主に府内企業からなる同交流企業連絡会を組織し、京都大学から研究シーズを提供をしていただき最新の知見を習得するとともに、会員企業の紹介をして会員相互の交流を推進しています。また、京都大学にある高度な実験施設も見学します。

なお、平成24年度には、次の講演をしていただき、また、今年度にも会員の皆様に役立つ交流会となるように企画しております。

### ①エネルギー理工学研究所

- ・「先端量子ビームを用いたエネルギー応用技術の可能性」 大垣英明教授
- ・「超高感度NMR法を活用したライフサイエンス・グリーンイノベーション研究」  
片平正人教授

### ②生存圏研究所

- ・「マイクロ波を用いた無線電力伝送に関する研究」 三谷友彦准教授
- ・「微細気泡技術を用いたセシウム汚染土壌の浄化とその応用利用について」  
上田義勝助教

### ③防災研究所

- ・「東日本大震災に学ぶ～関西の大震災にどう備えるか～」 川瀬博教授
- ・「2012年8月宇治市水害調査報告」 竹林洋史准教授

### ④化学研究所

- ・「京都大学ナノテクノロジーハブ拠点のご紹介～最新鋭の装置群を備えた開かれた微細加工拠点～」  
京都大学ナノテクノロジーハブ拠点 竹内司研究員
- ・「高分子とナノ粒子によるモノづくり」 大野工司准教授

なお、この交流会で企業紹介をしていただきました「プラスチックの染色技術」の(株)ムラカミ様は、京都中小企業優秀技術賞を受賞されました。

## ◎京都実装技術研究会

電子機器の生産に深く関わる基盤技術として接合・実装技術を中心に、生産現場の高度化のための課題や各社が抱えている共通の問題をテーマにした研究会活動や技術水準の向上に努め、鉛フリーを含む有害物質規制の対応の活動を実施してきました。しかし、実装技術についての問題がすべて解決されたわけではなく、鉛フリーについても対応、体制は整いましたが、その信頼性等引き続き検討すべき課題は山積していますので、現場に即した材料、プロセスについての情報提供、信頼性の構築方法等について、平成24年度は次のとおり事業を行い、今年度にも京都府内の電子産業の技術がますます向上するように活動をする予定です。

### ①例会

- ・「製造現場における不具合対策のアプローチ方法」 小松多加也氏(アルパイン(株))
- ・「リーチ(REACH)規則、CLP規則及びロース(RoHS)指令とその対応について」  
徳重諭氏(一般社団法人 日本化学工業協会)
- ・「鉛フリーはんだのその後について ～低銀材料から高強度材料まで～」  
上島稔氏(千住金属工業(株))、大澤勇氏(千住金属工業(株))
- ・「中国におけるモノづくりについて ～日本との比較～」  
小林伸夫氏(和紡電子(蘇州)有限公司)

### ・実装技術に関する相談会

河合一男京都府中小企業特別技術指導員によるマンツーマンによる相談会

### ②現場見学会

- ・パナソニック エコテクノロジーセンター(株)(兵庫県加東市)
- ・パナソニック デバイスSUNX竜野(株)(兵庫県たつの市)

### ③スキルアップセミナー(京都府電子機器工業会との共催による)

- ・実装技術スキルアップセミナーⅠ、Ⅱ 河合一男氏(京都府中小企業特別技術指導員)

現在、会員の募集をしておりますので、けいはんな分室までお問い合わせいただき、意欲的な事業者様に参加していただければと思います。



京都大学宇治キャンパス産学交流会



実装技術研究会の例会風景



実装技術研究会の相談会風景

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
けいはんな分室

TEL:0774-95-5027 FAX:0774-98-2202

E-mail: keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp